

○造化…天地を云う。天地自然の理。また万物を創造化育すること。またその神（自然界の創造主）。

『列子』『周穆王』に「造化之所始、陰陽之所變、謂之生謂之死」の例が見える。『白氏文集』『答劉和州禹錫』に「不教才展休明代、爲罰詩争造化功」の句が見える。

66○付度…おもいはかる。推し量る。人の意中を推量する。『新字源』では「他人の心を推し量る。臆度、揣度」と説明する。『漢語大詞典』では「①推測②思量」と説明し『詩經』『小雅・巧言』の「他人有心、予付度之」の句を引用する。

○陶甄…陶人が瓦器を作る、転じて自然が万物を作り上げる。聖王が天下をよく治める。

『漢語大詞典』には、「①比喻陶冶、教化」と説明し、『文選』張華の「女子箴」にある「茫茫造化、二儀既分、散氣流形、既陶既甄。」「李善注」如淳曰、陶人作瓦器謂之甄」の一文を引く。あわせて「②比喻造化・自然界」「③比喻君主」とも説明する。

67○荏苒…歲月のながびくさま。時がゆるゆる進むさま。悲しみや苦しみが打ち続き絶えないさま。

『漢語大詞典』には、「①（時間）漸漸過去、常形容時光易逝」と説明する。
陶潜「雜詩之五」の「荏苒歲月頽、此心稍已去」の句を引く。

○青陽…春を云う。気高く温陽なところからいう陽春。『漢語大詞典』には、「①指春天」と説明する。
『漢書』『礼楽志』に「青陽開動、根莖以遂」の例があるのを引く。

68○清和…陰曆四月一日、また四月の別称。天氣がおだやかなさま、世の中がおだやかに静かなさま。
『漢語大詞典』では「①天氣晴明和暖」「②清静和平」「⑥農曆四月的俗称」と説明する。

○朱景…日の光、朱るい景、夏の日の光。『朱』は夏を指す。